



これから冬の季節を迎えて空気が乾燥し、火災が発生しやすくなります。火災を未然に防ぐには一人ひとりが「火気」に対する正しい取扱いを身に付け、住宅火災の要因である「ついうっかり」を無くすることが大切です。ここでは、身の回りで起こりうる主な要因を見てみましょう。



**火災原因別防火のポイント**

**たばこ**

寝たばこはやけどや死につながり危険です。たばこの吸殻は水をかけて完全に消えてから捨てましょう。

◆ **防災品**

炎に触れても焦げるだけで燃え広がらない繊維製品で布団やシーツ、枕、毛布などがあります。

**暖房器具**

ストーブで洗濯物を乾かすのは危険です。石油ストーブに給油をするときは、必ず火を消しましょう。

◆ **安全暖房器具**

燃焼部分が露出していない器具や誤って転倒させたときは自動的に消火する器具があります。

**電気器具**

電気コードが家具の下敷きになっていると、コードが傷み火災になる危険があります。タコ足配線はコードが発熱して火災になることがあります。

◆ **コンセントの点検**

コンセントプラグは、清掃をしないで長年使用しているとほこりや湿気の影響で火災になることがあります。定期的に点検しましょう。

**住宅用火災警報器は火災の早期発見に大変有効です。火災から尊い命や貴重な財産を守るため早めに住宅用火災警報器を設置しましょう。**

**天ぷらなべ**

天ぷら油を過熱中に他の用事をするのは危険です。調理中コンロから離れる時は必ず火を消しましょう。

◆ **安全調理器具**

天ぷら油過熱防止装置や空焚き防止装置、立消え防止装置が付いた器具があります。

**灯明**

灯明の奥の物を取ろうとすると着衣に着火することがあり危険です。灯明を点けているときは、その場から離れないようにしましょう。

◆ **防災品**

燃えにくい素材で作られた仏壇マットがあります。

**放火**

放火を防ぐために家の周りに燃えやすいものを置かない等「放火されない、放火させない環境づくり」に努めることが大切です。

◆ **家の周りの整理整頓**

家の周りに燃えやすい物を置かないようにしましょう。ごみは決められた日の朝、決められた場所に出すようにしましょう。

**地域に伝わる伝統芸能を受継ぐ**

常陸大宮市立塩田小学校では2・3・4年生の児童が、西塩子の回り舞台保存会の協力のもと、歌舞伎の練習を行っています。練習は今年で7年目を迎え、これまでに「西塩子の回り舞台定期公演」、「茨城県郷土芸能発表会」、「ねりんピックなぎなた交流会」などに出演してきました。今後は12月8日(土)の「青少年をたたえる市民のつどい」に出演する予定です。

児童たちは歌舞伎「白浪五人男」、常磐津「子宝三番叟」を演じるため、秩父歌舞伎の先生と、烏山山あげ祭りの先生の指導のもとで7月より週2回の練習に励んでいます。

児童たちは大きな声を出し、楽しそうに、真剣に練習をしています。

来年の国民文化祭「西塩子の回り舞台」でも、たくさんの人に感動を与えてくれることでしょう。



▲「白浪五人男」

「白浪五人男」は、日本駄右衛門を首領とする、弁天小僧菊之助、南郷力丸、忠信利平、赤星十三郎の5人の盗賊の物語です。白浪を5人、捕手を5人、口上・つけを2人で演じます。



▲「子宝三番叟 (舞)」

常磐津「子宝三番叟」は演目の最初に演ずるおめでたい曲で12の子を持つ子福者が四季の遊びのおもしろさを物語る内容です。謡を4人、舞を3人で演じます。今は謡と舞を別々に練習していますが、上達するにつれて合わせて練習していきます。



▲「子宝三番叟 (謡)」



国民文化祭・いばらき2008ホームページ <http://www.kokubun2008.pref.ibaraki.jp/>

■ 問い合わせ先 ■ ■ 教育委員会生涯学習課国民文化祭推進室 ☎ 52-1111 内線344